

## 2026\_02\_05 幹事会資料

令和 8 年度新井自治協議会事業計画	P 1～2
農地・道路・河川の除草課題の包括的な解決に向けた取組について	P 3～4
丹波新聞ラジコン草刈り機	P 5
YW500RCAE 購入予定の機種 of 価格 (案)	P 6
維持管理費の主な内訳 (予想例)	P 7～8
利用料金の検討要綱 (案)	P 9～10

# 令和8年度新井自治協議会事業計画

## 令和8年度 新井自治協議会事業計画（案）

新井自治協議会は、地域住民の安心・安全な暮らしを守り、持続可能な地域社会の形成を目指し、地域の自主性と協働を基盤とした活動を推進してきました。令和7年度においては、防災体制の強化、子ども・高齢者支援の充実、地域のつながりの再構築を柱に、地域課題に取り組んできました。

一方、国際社会に目を向けると、ウクライナ情勢や中東地域の緊張状態は依然として続いており、エネルギー価格や物価の高騰などを通じて、私たちの生活にも大きな影響を及ぼしています。国内においても、少子高齢化の進行、人口減少、労働力不足、災害の激甚化・頻発化など、地域社会を取り巻く課題は一層複雑化しています。また、国や自治体の財政環境も厳しさを増しており、地域自らが支え合う仕組みづくりの重要性が高まっています。

こうした情勢を踏まえ、令和8年度の新井自治協議会は、「自助・共助の強化」「世代を超えた地域の支え合い」「将来を見据えた持続可能な地域運営」を基本的な考え方として、以下の3つの重点方針を軸に事業を展開します。

### ○ 施設維持管理費

#### ・ ふれあいセンター経費

自治会賠償保険料	231,000 円	火災保険	65,000 円
<b>トイレ修繕費</b>	<b>280,000 円</b>		

### ○ 協議会運営費

協議会運営費として、役員報酬・賃金を計上し自治協議会の運営の経常的経費を計上した。

### ○ 地域活動事業

#### 【生涯学習を支える地域づくり事業】

#### ・ 夏休みチャレンジ学習 地域づくり交付金（地域学校協働活動）

令和8年7月21日（火）・7月25日（土）・7月28日（火）・7月31日（金）  
新井ふれあいセンター、8月22日（土）は年輪の里で実施予定午前8時から10時まで  
チャレンジ学習と新井こども食堂との連携を図りこどもの育成を図りたい。

**令和8年度は、こども食堂の前にこどもの学習時間を設けた活動を実施する。**

- ・子ども子育て交流広場事業

にっこフェスティバルを12月5日（土）開催予定、幼児及び育児世代が集い楽しめる広場を設け、育児を応援する地域環境をつくることを目的として、広場事業を柏原子育てセンターが主催し、「にっこチルドレン」と新井自治協議会が支援して行う。

- ・ **子供支援事業**

- 新井こども食堂の支援**

- ・ **地域人権教育事業（地域づくり交付金（通常交付金加算分））**

- 新井地区に在住の外国の人との食を通じた人権教育を実施します。**

- なお、こども食堂の事業と並行して行います。**

- ・ **新井発祥の囲碁ボールの普及**

- 新井発祥の囲碁ボールの普及の促進をする。

【心豊かな安全安心な地域づくり事業】

- ・ **地域ぐるみラジオ体操**

- 令和8年7月18日（土）新井小学校グラウンド

- 夏休み前にラジオ体操を実施して、地区ラジオ体操の参加を促す。

- ・ **新井地区文化創作作品展**

- 実施日 11月1日（日）～3日（火・祝） 新井ふれあいセンター

- 日頃の趣味や学習で培われた作品出展及び新井地区内のグループ活動の紹介等による住民相互の交流を図る。今年度は、こども食堂等の協賛で実施を行いたい。

- ・ **防災事業**

- 防災研修会を市から指導者を招いて自治会長等の研修会を実施する。

- 令和8年5月22日（金）午後7時30分～ 新井ふれあいセンター

- ・ **無線草刈り機の導入検討**

- 無線草刈り機の導入に向けた調査・研究・要綱の制定等の協議の開始**

【新井自治協情報発信事業】

- ・ **SNSを使った情報発信**

- ホームページ、ライン等を使った情報発信をする。

- Instagramの活用による情報発信

【交流広場事業】

- **黒豆菓子販売**

- 地域住民に向けて、材料（黒豆）持ち込みのボン菓子加工を年1回以上実施いたします。

\* 令和8年度事業は、第1回理事会において詳細の検討を行い実施いたします。

# 農地・道路・河川の除草課題の包括的な解決に向けた取組について

## 背景

市内各地域で、高齢化による地域の担い手不足が顕在化し、地域の道路や河川などの除草作業をこれまでどおり継続することが困難になっている。土木総務課・道路河川課・農林振興課・市民活動課において協議した課題解決のための取り組みの1つとして、**除草課題を地域の課題として捉え、地域の環境及び景観の保全や自治会の負担軽減に向けた取組を自治協議会が補完できるか、また、ラジコン式草刈り機が、除草課題の解決に向けた有効な手法になりえるかを検証するため、ラジコン式草刈り機の無償貸し付けによる実証実験を行っている。**

貸付団体：**佐治地域自治協議会、遠阪自治協議会**

対象機器：(株)アテックス製 ハイブリットラジコン草刈機 **神刈 RJ705**

貸付期間：**令和6年度から2年間**

## 実証実験の結果（途中経過）

- ・平地で広い面積には、大型機による負担軽減・作業時間の短縮を図ることができた。（8～10a/h）
- ・幅の狭い畦畔、急傾斜の法面、水路付近など、走行や除草が困難な場所は、**脱輪や転倒の心配があったため利用実態が少ない。**
- ・傾斜地、狭小地など地形によって機械の使い分けができれば、さらなる負担軽減につながる。
- ・刃の交換や点検が容易に行えない構造となっており、業者によるメンテナンスとなるため、**費用と時間がかかる。**
- ・機械操作に熟練すると作業効率が向上するため、オペレーター組織を立ち上げ、**経験豊富な人材が安定的に運用することが望ましい。**
- ・草刈り機の導入を複数の地区が希望している。

## 実証実験の結果を踏まえた展開

- ・青垣地域でのラジコン式草刈り機の運用（オペレーター組織化も検討）
- ・ラジコン式草刈り機の貸し出し（1台・草刈り機の導入を検討する地区を対象）
- ・**大型草刈り機の購入費補助制度の創設**

対象団体：**自治協議会** 補助率：**3分の2** 補助上限額：**250万円** 条件：草刈り機1台当たりの購入価格が50万円以上（税抜）のもの。

1度補助を受けてから、**5年間は再び補助金の交付を受けることができません。**

想定機種の一例：ラジコン式草刈り機、自走式草刈り機、乗用草刈り機（装着式や単体で作業が完了しないものは不可）

# 大型草刈り機 購入目的（案）

## 【1. 購入の背景】

- ・ 地域の除草作業は高齢化・担い手不足により継続が困難になっている。
- ・ 農地・道路・河川など広範なエリアでの除草負担が大きく、地域維持活動の継続性が課題となっている。
- ・ 実証実験により、大型草刈り機は広面積や平地で高い作業効率（8～10a/h）が確認された。
- ・ 複数地区から導入希望があり、自治協議会による共同利用の必要性が高い。

## 【2. 購入の目的及び課題】

### 1. 地域の除草作業負担の軽減

高齢化により減少した作業力を補い、地域の維持管理の継続性を確保する。

### 2. 景観保全と安全対策の強化

草丈が伸びることによる交通・水路安全上のリスクを低減する。

### 3. 地域自主運営力の向上

自治協議会が機器を保有し、管理・運用の仕組みを構築することで、地域の自立性を高める。

### 4. オペレーター組織の育成

熟練者による安定的な運用体制を整備し、地域内で技術を共有する。

### 5. 作業効率の大幅向上

従来の手刈りや小型機では難しい広面積の除草作業を短時間で実施できる。



## YW500RCAE 購入予定の機種価格 (案)

	メーカー希望小売価格	
	(税抜・円)	(10%税込・円)
合計	<b>1,675,000</b>	<b>1,842,500</b>

※オプションを取り付ける場合、別途取付工賃が発生する場合があります。

### 草刈機

選択	エンジン馬力(PS)	販売型式	仕様	メーカー希望小売価格		備考
				(税抜・円)	(10%税込・円)	
	3.9	YW500RC	-	1,529,000	1,681,900	
○		YW500RC	AE	1,675,000	1,842,500	デバイダ・からみません装備、セル付

### オプション

選択	品名	販売型式 又は商品コード	仕様	メーカー希望小売価格		備考
				(税抜・円)	(10%税込・円)	
○	交換用フリーナイフセット	7A1025-43110		都度お見積り		価格は商談にてお問合せください。
○	保護メガネ		付属	-	-	
○	送信機用ストラップ		付属	-	-	

- 購入時点
- ・ 補助金上限 2,500,000円 補助率3分の2 最高 3,750,000円 自己資金 1,250,000円
  - ・ YW500RCAE 1,842,500円×2台=3,685,000円 **自己資金 1,228,000円** この金額を自治会負担
- 維持管理
- ・ 動産保険 1台 48,000円×2=96,000円
  - ・ 使用頻度による維持管理経費 (別紙)

QR\_ヤンマーラジコン草刈機 YW500RC    QR\_ラジコン草刈機『神刈』プロ仕様 RJ1016



## 維持管理費の主な内訳（予想例）

※メーカーの公式統計が出ていないため、一般的なエンジン駆動機械（ラジコン草刈機・管理機・草刈機など）の維持費の実務ベースの想定としてまとめています。

### 1) 燃料費

- 使用燃料：混合ガソリン（50:1）・エンジン2サイクル（80cc程度）
- 草刈機の場合、一般的な燃費は「燃料タンク容量 1.8L」で、作業時間に応じて…  
**年間燃料コスト：5,000～25,000円／年程度**（使用頻度により大きく変動）

---

### 2) 日常的なメンテナンス

※稼働時間・地形・草の硬さにより消耗スピードは大きく変わります。

※ラジコン操作系（送信機・受信部）の管理・電池交換も必要になります。

項目	おおよその費用
エンジンオイル／燃料混合オイル	数千円／年
エアクリナー清掃／交換	1,000～3,000円
プラグ交換	1,000～3,000円
ブレード（フリーナイフ）交換	<b>1セット 5,000～20,000円</b>
クローラ（ゴム・ベルト）交換	<b>1本 数千～数万円</b>
バッテリー交換（12V×2）	<b>5,000～15,000円</b>

### 3) 年次点検・整備（専門店依頼）

草刈機は構造が複雑なので、年に**1回～2回程度の整備**を専門店・販売店に頼むケースが多く、その際は：

- **1回 5,000～20,000円程度**（点検・必要交換パーツ代別）  
ベルト張り調整・エンジン調整・安全装置チェック  
消耗部品（ナイフ、クラッチ、ベアリング等）は別途追加費用

---

### 4) 故障・修理費の目安

草刈機の一般的な修理は、症状・部品により差が大きいです。経験則として：

- **軽微な修理（調整・清掃中心）**：5,000～15,000円
- **中規模の部品交換（クラッチ・ベアリング等）**：10,000～50,000円
- **エンジン本体・大破系修理**：50,000～150,000円以上～（事案により大幅に変動）
- **送信機・受信機系故障修理**：10,000円前後～（部品次第）

※専門機械の修理は部品代＋工賃の合算で算出されます。

※古い機体・長期酷使状態では修理費が大幅に増えるケースあり。

---

## 年間維持費の参考モデル（使用例）

頻度	年間維持費目安
少ない利用（年 1～3 回程度）	約 10,000～40,000 円
中程度利用（年 10～20 回）	約 30,000～80,000 円
多頻度・酷使利用	約 80,000～150,000 円 + 修理費

※全て消耗部品・工賃込み想定（但し重修理は別途）

---

### 経費試算時の注意点

- **使用頻度・草の密度・傾斜地の有無**で消耗度が大きく変動します。
  - **\*\*安全装置や遠隔操作系（ラジコン部分）\*\***は、草刈機本体と異なる故障傾向があり、見落としがちです。
  - **補助金・税制控除・減価償却**を利用することで、実質的な負担は軽くできます（農業機械補助金、機械償却資産扱い等）。
- 

### まとめ

- **初期購入価格**：約 1,842,500 円（税込）※メーカー希望小売価格。
  - **年間維持費**：おおむね **10,000～150,000 円台** 程度（使用頻度と修理状況に左右されやすい）
  - **修理費**：部品・故障内容で **数千円～十数万円** の幅あり
-

## 利用料金の検討要綱（案）

自治協議会が保有する機器を長期的に維持するため、適切な利用料金体系を設定するための考え方をまとめたもの。

---

### 【第1条（目的）】

本要綱は、大型草刈り機の維持管理費（燃料、消耗品、部品交換、業者メンテナンス及び保険料等）を賄い、安定的な運用を図るため、利用料金の設定方法を定めることを目的とする。

---

### 【第2条（料金設定の考え方）】

#### 1. 基本原則

##### (1) 地域公益性を最優先

地域の維持作業（河川・農地・道路）に支障が出ない料金に設定する。

##### (2) 維持費用の一部回収

年間の保守費（オイル交換、刃交換、点検費等）を賄える料金水準を目安とする。

##### (3) オペレーターの負担軽減

熟練者が無償で働きすぎないように、オペレーター謝金の制度も可能とする。

#### 2. 料金算定の基準

以下のいずれか、または組み合わせで検討する。

##### (1) 時間制

- ・1時間あたり：1,000円～3,000円
- ・オペレーター付きの場合：2,000円～5,000円  
（機器損耗・燃料代を考慮）

##### (2) 面積制

- ・10aあたり：2,000円～5,000円  
（現行の手刈り委託単価との比較で調整可能）

##### (3) 燃料代方式

- ・利用者が燃料を補充して返却（工期が短い地区向け）

##### (4) 町内（自治会）価格と一般団体価格の二段階

- ・自治協議会内自治会：低料金
- ・自治会外団体：上記より高めに設定

---

### 【第3条（料金の見直し）】

1. 料金は年1回、役員会で見直す。
  2. 修繕費が増加した場合は料金改定を行う。
-

#### 【第4条（徴収方法）】

1. 作業終了後、管理責任者へ報告し、月ごとに精算する。
2. 納付方法は現金または口座振込とする。